

【1】新庁舎に関すること

No	意見の概要	町の考え方
1	反対意見である。現庁舎の跡地利用が提示されていない。	現庁舎跡地は、二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画においてお示ししているとおり、廃止を予定している武道館、町民センターのほか、正泉寺跡地も含めて一体的な利用について検討していきます。また、都市計画上の制限もあることから、それを踏まえ将来のあり方を考えていきます。
2	小中統合を進めるのであれば、空いた学校を改修して庁舎にすれば良い。浮いた費用で現庁舎解体後は吾妻山への観光誘致拠点としてバス駐車場、地産土産販売店などを整備するのがよい。	現在、町内に廃校や空き校舎はありませんが、町の教育がどうあるべきかという視点から小中一貫教育推進計画を基に検討を進めています。令和6年度中に、その研究会からの提言を受け、今後、教育委員会で検討を進めます。その結果について、地域のみな様にご説明し、ご理解を得るためには相当の時間を要します。また、災害対策本部となる庁舎と学校の耐震基準は異なるため、災害対策本部に求められる耐震性能を確保するための改修が可能なのか調査する必要があります。
3	空き校舎の活用：空き校舎を補強し有効活用する等、他の自治体の事例を参考に、複数の選択肢を評価して示して欲しい。	【項番2】のとおりです。
4	統廃合するのであれば、小学校校舎を有効活用する必要がある。	【項番2】のとおりです。
5	子供が少なくなってきたのだから一色小学校を役場にしたらどうか？お金がないのになんでこんなに沢山作るのか？	【項番2】のとおりです。
6	新庁舎建設の反対。現在の人件費、建材の高騰により、この予算内で済むとはとうてい思えず、しかも高齢化率の高い二宮町での負担は、ということか？もっと現実的に考えてもらいたい。例えば、一色小など、空いている建物の再利用を考えるべきだ。	【項番2】のとおりです。
7	新庁舎建設の反対。二宮町のもっとすすむであろう、大変な高齢化による税収入の先細りは、目に見えるのに。新庁舎建設はありえない事。もっと知恵をしまし、例えば一色小などの建物の再利用などしてもらいたい。	【項番2】のとおりです。
8	二宮小学校をラディアンの所に新築して役場は現在の二宮小学校の校舎を使えばよい。役場→二宮小学校校舎→ラディアンに小学校校舎を建てる。	【項番2】のとおりです。
9	何故、公道に面する法務局前のラディアン駐車場の活用に？	ご意見として賜りました。
10	北棟・南棟の2棟建設に分かれているのが何故か？建設費の面では1棟に纏めた方が安価に建設できるのに何故2棟なのか？見栄え・格好の良さからか？(必要ないと思う)1棟・2棟の見積もりを取ったのか？建設費削減に努力すべきではないか？	庁舎は、多くの町民の方が手続きや証明書発行でご利用される窓口や議会など、主だった行政機能の他、福祉や教育に関する相談機能を提供します。近年、子どもの発達や学校生活に関するデリケートな相談が増えていることから、専門家の方からもご意見を伺いながら、窓口や議会など主だった行政機能を集約した本庁舎(北棟)と別棟(南棟)としました。北棟は災害対策本部となるため鉄筋コンクリート造となっており、国の基準においても耐震性能は最上級の仕様です。一方で、南棟、(仮称)福祉会館は軽量鉄骨造であり、国の基準における中級の仕様です。建物の仕様を変えることでコスト的にもメリットがあります。また、設備等はできるだけ共有してランニングコスト低減にも配慮しました。
11	2分割により建設費の増大となる。南棟の機能を合わせ建設費を抑える事が望ましい。	【項番10】のとおりです。
12	ライフサイクルコストを考えるなら一体化であり、分舎化は不合理。	【項番10】のとおりです。
13	新庁舎を、北棟と南棟に分割する必要性に大きな疑問を感じる。一体型の方がコストが安く、運用面からも利便性が高い。非常に無駄で前時代的。再考して欲しい。	【項番10】のとおりです。
14	2棟は本当に必要なのか。教育行政と町行政が物理的にも距離を置くことは、本当にいいことなのか。教育相談や不登校の子どもたちへの配慮は、棟を分けないと本当に行えないのか。入り口を分けるなどの工夫で対応できないのか。町内の業務の縦割りが経常的に問題視されている今、あえて高いコストをつかって2棟にする意義が本当にあるのか。	【項番10】のとおりです。
15	町の説明では南北2棟建設する理由やメリットがわかりません。子どもたちの配慮はわざわざ2棟にしなくてもできるのではないのでしょうか。	【項番10】のとおりです。
16	3棟を新築するとのことだが、棟数は少ない方が新築、ランニングコストからして良い。少なくとも北と南は一緒にして公共緑地を広げた方がよい。南棟をどうしても残すなら、議会棟にすればランニングコストは下がる。	【項番10】のとおりです。
17	大きな疑問。何故3棟もつくるのか。建築物が四角で凸凹のないものが建設、ランニングについて効率的である。3棟を1つの建物に集約できないのか。座間市役所など例は沢山ある。しかし効率ばかりで1棟にしたほうがよいとも思わない。合同庁舎では人に見られるのはいやだ、行きづらいという町民もいると思う。福祉の相談や騙された時の相談、その他色々な相談などである。また、24時間対応などのため、別庁舎にしておいたほうが合同にするより暖冷房など効率的になると思う。そのため、別庁舎をつくるというのは、ありだと思う。	【項番10】のとおりです。
18	北棟・南棟・福祉会館の3棟構成になっているが、1棟とした方が良いのではないのでしょうか？階段・エレベーター等の削減や建物外皮率の低減による建築コストの削減、ランニング費用の削減。管理費用の簡素化等が図れると思います。また総延長の長い擁壁についても簡略化が図れると思います。機能上同線を分ける必要がある部分もあるかと思いますが、設計の工夫でクリアできると考えます。建築労務状況や物価上昇等を鑑みると、小規模の公共建物は入札不調となる恐れが高いため、一体化しスケールメリットを生かせる建物とし、建築坪単価を下げる事、1棟の工事ボリュームを大きくすることが得策と考えます。(実際にゼネコンの設計部門で日々設計業務をしており、建築コスト(資材の物価上昇)や労務状況、入札状況等について肌で感じているため、設計しても入札不調で工事出来ないのでは意味がなくなってしまう(都心部では、今後10年程度先まで大規模再開発等のプロジェクトが多数あり小規模の建物は受け手が少ないため、是非前向きに検討をお願いいたします)全体のボリュームや諸室構成についてコンパクトな二宮町に合ったコンパクトで機能的な庁舎の基本設計になっていると考えますが、コンセプトがしっかりした北棟の設計思想が南棟、福祉会館棟にはあまり感じられないため、出来れば北棟に集約した建物としカッコいい建物で、職員の方のモチベーションも上げていただければと思います。	【項番10】のとおりです。
19	3棟にしたいのであれば、南棟は議会棟にすればよい。自治、分権という考えからすれば、教育委員会より議会のが独立棟にふさわしい。365日開いているわけではないので、事務局や議長室など必要なところだけ小規模な暖冷房を別にし、開会中は全館暖冷房にすればよい。行政機能を集約するというのであれば、暖冷房は集中させ、温暖化防止の先進地区にしてほしい。	議会の機能的な独立性確保や災害時における議場の転用可能性も加味して本庁舎内としています。
20	現在の有料駐車場(ラディアン前)、花の丘公園、ラブホ跡地で設置できるのではないか。提案した土地は町有地でなければ購入する事になり、これまた問題ですが。	庁舎の建設地として、ラディアン駐車場は建築基準法の防火規定による既存建物との離隔距離を取る必要があり、十分な床面積や駐車場を確保することが難しい状況です。ピロティ構造(高床方式)も併せて検討しましたが、高騰する建築費やバリアフリー性の低下が懸念されます。花の丘公園は都市計画決定された公園のため建設はできません。ホテル跡地だけでは十分な敷地を確保できず。高さも15mの制限があることや、住宅と近接することを踏まえ難しい状況です。
21	庁舎の建設は、図書館駐車場の西半分に。 1.緊急輸送道路に直結。2.ラディアンと複合性、ランニングコスト減〜3.将来市町合併の支所(一室でよい)(今の果樹公園だと大きな負の遺産となる)4.ハザード…浸水は葛川浚渫でクリアー(県にたよらず上流区域の緑化、水田復活は町の仕事)5.防災機能完璧へ、デジタル対応万全へ…etc可能なもの。＃中心の庁舎として市町合併後も残す。	【項番20】のとおりです。
22	庁舎町長公約のとおり「財政規模に見合ったもの。2棟より1棟 更に福祉会館も入れて敷地の節約すべく3〜5階建て1棟にして下さい。なお、図書館駐車場西側半分4階建て複合庁舎がベストと思います	【項番10】のとおりです。なお、ラディアン周辺は、都市計画法により高層の建築はできません。また、ラディアン駐車場を新庁舎建設地としていないことについては、【項番20】のとおりです。
23	新庁舎北棟と南棟、分けて建設する理由は理解できるが維持管理費は増えるのでは？	ご指摘の通り、分棟により清掃等の一部の維持管理費が増える一方、受電設備等の管理費に影響のない部分もあると考えられます。利用者のメリットを優先して分棟を考えております。
24	新庁舎を法務局そば(広報平成30年4月〜広報31年2月他)から県有地の果樹公園(広報令和5年5月、広報令和5年10月)へ変えた理由が町民に知らされていないまま事が進められている。7/1〜7/31のパブコメで決定・了解は無理です。九月議会(体制側議会)通してすぐ着工は多くの町民を裏切ることになります。町民の理解、応援なくしてまた多くの反対意見が出るはず。新庁舎問題を長期間研究・検討に戻して、ゆっくり再スタートへ	広報やホームページ掲載も含めて、新庁舎・駅周辺公共施設再編計画(新庁舎基本計画)にてお示ししています。
25	住民の意見を広く収集し、計画の再評価に反映させること。	これまで、広報紙12回、ワークショップやアンケート、地区との意見交換等で多くの意見を伺ってまいりました。今回の意見募集も踏まえて計画を進めてまいります。

No	意見の概要	町の考え方
26	新庁舎建設の反対。しっかりした説明も無く、勝手に話を進めてしまう。未来の人達に不安、負担しが残さない。まるで国が勝手にやっている事と同じ	【項番25】のとおりです。
27	いくつかの懸念点を抱えている。例えば、建設費用の予算逼迫や、計画の進行に伴う町民への影響などが挙げられる。これらについて透明性を保ち、計画段階から町民参加型のプロセスを確立することが重要である。町民の声を反映させた計画立案と運営が、信頼と支持を得る鍵となる。新庁舎建設が持つ潜在的な利益と、慎重に対応すべき懸念点を考慮した上で、このプロジェクトに賛成である。地域の安全と発展を促進するために、適切な措置が取られることを期待している。	【項番25】のとおりです。
28	PCの普及により現在の1職員1デスク制を止めて、執務スペースを減らすことも考えてほしい。同じ人の隣にいつも座るよりコミュニケーション活性化などに役立つ。	レイアウト効率向上のため、役職席を廃止したユニバーサルレイアウトを採用することで、十分な動線を確保しながら無駄を省きます。
29	教育委員会を別棟にするのは、違和感がある。秦野では、場所がないから合同庁舎から出て行っただけ。学校の空き教室に入れればよい(教育の独立のため、別庁舎が必要というのであれば)。いじめ、小中一貫など町にとって重大事は教育委員会に丸投げするのではなく町長のひで元において、町長部局がコントロールしたほうがよい。1例をあげれば、小学校入学にあたり、健康診断、学童保育申し込みなど、何度も会社を休まなければならないと聞いた。そういう調整は町長部局がやり、教育機関は教育、いじめ防止などに専念してもらいたいと思う。	教育がどうあるべきかについては、行政機関の都合と切り離して考えるべきことであるため、独立した別機関として教育委員会があります。なお、現在、町内に廃校や空き校舎はありません。
30	新庁舎ならびに関連施設の建設に大賛成である。現在の庁舎の老朽化は、危険なレベルまで進行しており、余談を許す事は出来ない。そして現在の立地が高台で高齢者や身体不自由の方の利用し難さ、駐車スペースの少なさ、町民のみならず、職員の職場環境改善は急務である。	町民のみな様の利便性向上、安全安心のため計画に沿って進めてまいります。
31	新庁舎(北棟・南棟)建設時の境界の塀について。隣接地との境界(東側[新庁舎(北棟・南棟)]・北側[果樹公園])に設置する塀の仕様は防犯性とプライバシーにも配慮いただきたい。	防犯、プライバシーに配慮したフェンス設置等の外構を検討します。
32	利便性の向上:新庁舎建設は利便性の向上を目指しているが、現時点で具体的にどのような不便や非効率が存在し、それが計画の具現化によりどの程度改善されるのかもう少し定量的に示して欲しい。	現庁舎は授乳室やみんなのトイレがありません。坂の上で11%の勾配があり、高齢者や車いすの方がご自身で来庁することは困難です。公共交通機関のバスも狭い道路により進入できません。駐車場が不足しており繁忙期は渋滞が生じています。庁内のいたるところに段差があり車いすやベビーカーの方の移動に支障があります。プライバシーに配慮した相談スペースが確保できていません。これらの全てが解消されます。
33	メリットとデメリットの評価:計画の良い点ばかりが強調されている一方で、デメリットも具体的に評価し、その低減や回避方法について十分な議論が行われているのか示して欲しい。	新庁舎・駅周辺公共施設再編計画において、ラディアン周辺地区整備のコンセプトを設定するにあたり、第一駐車場案と果樹公園案のメリット・デメリットを比較し、新庁舎を果樹公園に配置することとしています。なお、その際に指摘されている視認性の低さについては、適切な案内表示により解消できるものと考えています。
34	二宮町のように小さな町では、大都会のように町の収入も限られているものと思うので、出来るだけ新施設のランニングコストを低く維持できるよう考慮してほしい。	ご意見のとおり、将来にわたるランニングコストの影響が大きいと考えています。メンテナンス性や設備の更新し易さ等も踏まえ設計(案)を検討しました。
35	施設の老朽化と言う言葉が出てくるが、築年数40年程度で老朽化というのは適切な管理が行われていたのか疑問。新庁舎建設は、適切な管理計画のうえ、管理コストも含めた建設コストで考えるべき。	【項番34】のとおりです。
36	現在の役場についての改良を優先してほしい。歩いて役場へ行き来する住民には、エレベーター(下り)が急務。まずその改良工事に経費を使ってほしい。	新庁舎を計画する中、老朽化した現庁舎に費用をかける予定はありません。
37	公共建築物は本来、修理や改修を行いながら長寿命化を図るべきです。具体的には、以下のような改修が必要です。耐震補強:地震に対する安全性を高めるための補強。空調設備の更新:快適な環境を維持するための設備更新。給排水設備の更新:衛生的な環境を維持するための設備更新。これらの改修は、既存の建物に対しても十分に可能であり、建て替えによる財政的な負担を避けることができます。建て替えは財源の無駄遣いであり、現在の施設を適切に改修する方が合理的です。	平成29年度の「二宮町役場庁舎整備手法調査報告書」により、現庁舎の耐震化は老朽化が著しく、新築同等の費用が見込まれることが分かっています。また、三角形に近い不整形の建物であり、耐震改修(ブレースの設置)により、著しく利便性が低下することから、建物の使いやすさや残りの寿命などを考慮すると費用対効果に劣ることが分かっています。
38	庁舎ありきで進んでいるように見える、建物を建てることを前提で話を進めるべきではない。	【項番37】のとおりです。
39	お金がないのだから材料がこうとうしている時期にわざわざ造るのではなく耐震をすれば良いと思う	【項番37】のとおりです。
40	新庁舎反対。町にお金がないんだから耐震すればいいんじゃないか	【項番37】のとおりです。
41	耐震補強や修繕で対応できないのか。現在の庁舎の老朽化や、耐震に不安があるならば耐震補強工事などの修繕や、複合施設建設計画が駅前にあるのだから、その施設の中に二宮町役場庁舎も組み入れた建設計画でよいのではないかと思います。	【項番37】のとおりです。(駅前複合施設の敷地における法律上建設可能な床面積には必要な機能が収まりません。)
42	第一回の資料や今回のワークテーマの設定は、庁舎がラディアンに移動することが前提で話が進んでいる。現在の庁舎のままではいけないことは解るが、箱モノを建てる前提で話が進んでいることは納得できない。	【項番37】のとおりです。
43	役場機能の再配置や集約が何のために行われるのか理解できない。	【項番37】のとおりです。
44	人口減少やAIやネット環境などテクノロジーの進化。少子化による人口減少、また、テクノロジーの進化により役場機能の省人化も予想されるのに、ラディアン周辺に公共施設を集約し、さらに駅前の複合施設建設計画等もある。そんなに箱物が必要なのか疑問です。	デジタル化の進展や人口減少は見込まれていますが、まだまだ過渡期です。その過程では、丁寧な相談業務や各課の連携性が求められています。将来人口が減った際についても、柔軟に対応できるよう設計を行っています。
45	「みんなのトイレ」はなぜ一階だけなのでしょう。北棟、南棟ともに各階に設置の再検討をお願いいたします。すべての来庁者、職員が気持ちよく使えるようにお願いいたします。新庁舎が防災拠点の役目を果たすのであれば一階一箇所というのはいかがなものかはなはだ疑問です。	神奈川県「みんなのバリアフリー街づくり条例」に則り、各棟に1箇所の設置としました。
46	議場ならびに傍聴席を含めて全ての階がバリアフリーになっているか確認してください。	神奈川県「みんなのバリアフリー街づくり条例」に適合した建物にします。また、車いすによる傍聴を可能としているほか、議員・職員も車いすで議会に出席することが可能です。さらに、当事者の方々からいただいたご意見により、磁気ループを設置予定です。
47	エレベーターは障害者でも操作できる大きな物を設置してください。現在の庁舎のものは小さすぎます。せめて町民センターのエレベーターなみにお願いいたします。	急病者等の搬送を想定し、ストレッチャーが入る大きなサイズを設定しています。
48	新庁舎建設計画を一時停止し、既存施設の改修や補強による代替案を検討すること。	【項番37】のとおりです。
49	分散型行政サービスと空き家活用 概要:二宮町内に存在する空き家を買取り、分散型の行政サービス施設として活用することで、地域全体の利便性を向上させる。空き家の買取りと改修:二宮町内の空き家を買取り、行政サービス施設として改修。耐震補強やバリアフリー化を施し、住民が安全かつ快適に利用できるようにする。分散型施設の配置:主要な行政サービスを分散型施設で提供。各地域に適したサービスを提供するため、住民のニーズに合わせた施設配置を行う。オンラインサービスの拡充:オンライン窓口や電子申請システムを導入し、物理的な施設への依存を減らす。高齢者向けのITサポートを提供し、オンラインサービスの利用促進を図る。移動式窓口・出張サービスの導入:移動式の行政窓口や出張サービスを導入し、特定の地域に集中しない行政サービスを提供。イベントや定期的な訪問を通じて、住民が気軽にサービスを利用できる環境を整える。	今後、マイナンバーカードの活用等も進み、証明書の発行等はデジタル化されていきますが、一方で役場へ相談に訪れる方は、色々な問題が複雑に絡み合っていることも多く、他課との細やかな連携や調整が必要となる対応が多くあります。デジタル化を推進する一方で、非常時における対面の必要性も再認識されています。一般事務職員で140人にも満たない二宮町役場の規模を考え、分散化することは考えていません。なお、10月から町公式LINEを始めており、今後もオンラインでの申請などを拡大してまいります。
50	現在の二宮町には、空き家や廃校等の、再利用が可能な建物がたくさんあります。最低限必要な「本社機能」の様なものと、非常用電源を抱えた、小さな建物をだけで事は足りるはずで。それ以外の地域に密着した窓口要素の「ミニ出張所」の様な物は、上記の余ったスペースに設置すれば良いと考えます。方々に分散した方が、ラディアンから遠い場所におられるお年寄りにとっては、車の運転が出来なくなる事を考えると、近くにある事のメリットは大きいと考えます。	【項番49】のとおりです。
51	デジタル行政の推進。インターネットが発達した現代において、物理的な庁舎の必要性は以前よりも減少しています。オンラインでの行政サービスを充実させることで、町民の利便性を高め、運営コストを削減することが可能です。子育て中の親としても、オンラインで手続きができることは非常に助かります。	【項番49】のとおりです。
52	PPPIによるSEIYU二宮店との協業 概要:SEIYU二宮店と協業し、公共施設の整備・運営を行うことで、コスト効率と利便性の向上を図る。協業による施設整備:SEIYU二宮店の一部スペースを活用し、行政サービス窓口を設置。商業施設との連携により、買い物ついでに行政サービスを利用できる環境を整備。民間のノウハウ活用:SEIYUの運営ノウハウを活用し、効率的な施設管理とサービス提供を実現。民間のIT技術やマーケティング手法を導入し、行政サービスの質を向上。地域経済の活性化:SEIYUとの協業により、地域の商業活動が活性化し、経済効果を創出。SEIYUの集客力を活用し、行政サービスの認知度と利用率を向上。補助金・助成金の活用:PPPモデルに適用可能な補助金や助成金を積極的に活用し、財政負担を軽減。共同事業としての申請を行い、財源を確保。	ラディアン周辺整備に伴い、コンビニエンスストア各社へ出店について打診しましたが、参入は難しいとのことでした。売り場面積の縮小やセキュリティ面での課題などもあることから、民間企業側のメリットがなければ難しいことと考えます。
53	新庁舎の運営維持費用が現行施設よりも大幅に増加し、年間予算の多くが新庁舎の維持に使われることで、他のサービスに支障が出る可能性があります。省エネルギー設備の導入が失敗し、エネルギーコストが削減できない場合、運営コストがさらに増加します。	LED化や省エネルギー設備の導入により、現庁舎に比べてエネルギーコストは3割ほど安くなる見込みです。また、庁舎が新しくなることで、現在かかっている修繕費用などは当面の間少なくなることが見込まれます。

No	意見の概要	町の考え方
54	新庁舎が完成しても人口減少が予想以上に進み、利用者が減少することで、計画当初の利用予測が達成できません。新庁舎による地域経済の活性化が期待通りに進まない場合、商業活動が停滞し、地域経済が悪化するリスクがあります。	新庁舎建設は地域経済の活性化を目的としたものではなく、町民全員の安全安心なまちづくりを第一に考えています。
55	ラディアン周辺行政機能等集約基本設計(案)におおむね賛成。P10土砂災害特別警戒区域に北棟(主要機能)が近いので、南棟と場所を入れ替えては？	北棟は鉄筋コンクリート造であり、万が一においても土砂の流入に耐えられる作りとしています。
56	環境にやさしい街を標榜する街の中心になるので、周辺地域にも誇れる環境性能を実現すべき、少なくともnearlyyZEBを目指すべきではないか。そのための再生可能エネルギーの創生は現実的には太陽光発電と蓄電池になると思う。庁舎の南面は何故太陽光パネルを置けないのでしょうか、庁舎の消費電力の試算との関係もありますが、やはり課題は蓄電池のコストになろうかと思います。専用蓄電池は大容量に越したことはありませんが、それをカバーする意味で公用車の電動化を合わせ進めることで、通常時の自己エネルギーとして、また非常時の電源としてディーゼル発電機との併用が信頼性も高く最も現実的かと思います。また、公用車及び一般の駐車場には急速充電設備は必須ではないでしょうか。これも太陽光発電由来の電力で賄うのが良いと思います。後世に引き継ぐ施設ですので、胸張って引き継げるものにすべきだと思います。	Nearly ZEBを目指すためには、太陽光発電設備と蓄電池設備が必要です。これらの高額な設備を採用するにあたっては補助金等もありますが、20年後の更新費用を考慮すると将来に負担を残すことになります。ラディアン建設時も当時最新の設備を導入しましたが、今では維持や更新に苦慮している反省をいかし、ランニングコストとともに将来の更新費用の低減に配慮した設計としました。(太陽光発電は災害時の利用を踏まえ一部採用します)なお、公用車の電動化と充電設備の設置については、太陽光発電の導入と併せて検討します。
57	今般のラディアン周辺計画合計額“56億3千万円”に反対します。私は、チラシを見て腹立たしく思い、そして激昂している。議会で2度も否決され白紙撤回されたはずのこれらの事業が何故、今になって論争を呼んでいるのか。白紙撤回された事業をその後も水面下で検討すること自体、合点が行かない。そもそも、町当局が新庁舎に執着する訳は何故なのか。負債を抱えてまでも拘る訳は何故だろう。私は75歳の後期高齢者ですが、町当局は今ここで身の丈を遥に超える途方もない借金は控えるべきである。この先30数年に及び返済は著しくその気力と体力を失う。町当局を取仕切る幹部たちの反対論はなかったのか。又、議員や地域の地区長の方々は何故それらを許してしまったのか責任は非常に重く重大だ。	これまで、広報紙(12回)掲載のほかワークショップやシンポジウム、アンケート、説明会、地区との意見交換等で多くの意見を伺ってまいりました。その結果、現在の計画に繋がっています。町が新庁舎建設を必要と考えている理由は、現在の庁舎は耐震性が不足しており、地震などの大規模災害が発生した場合に倒壊・崩壊する危険性が指摘されているためです。災害対策の拠点となる庁舎が機能しないことで、その後の復旧・復興に大きな影響が出る恐れがあるため、早急な新庁舎整備を目指しています。
58	会社経営を例に挙げると、借金をしてでも前に進まなければならない時期がある。その一方で、有利子負債を無くして健全経営を保たなければならない時期が来るように、町の経営も同様であると思うし、町自身も身軽な体質でなくてはならないと考える。町当局は“財源の数値が一人歩き”することを避けて極秘に検討したと述懐しているようだが、このような考えが論争を巻き起こしたのではないか。果たして、二宮町は本当に新庁舎が必要なのか。令和のこの時代に、ご自身と職員のための天守(新庁舎)を建築するつもりなのか。上層階から眺めるしか意味のない庁舎の建設。…その前にすべき政策・施策があるでしょう。私には政治や行政のことは良く分からないが、今一度言わせて戴くが今回の事業だけは断固反対である。	【項番57】のとおりです。
59	平成31年に新庁舎建設基本構想・基本計画(案)は2度否決されて撤回している。今回はその焼き直し、煮し返しであり、非常識な態度と言わざるを得ない。	【項番57】のとおりです。
60	現庁舎の使い方が雑だということを自覚し改善しなければ新しくしてもすぐ汚れる。	ご意見として賜りました。
61	建設場所と建設費の削減を検討してほしい。最初の新庁舎計画の場所は町営Pを含めた町有地だった。前議会での経緯はあると思うが、町有地を有効活用すれば3億の購入費は削減できる。果樹公園は貴重な空間であり、活用策を工夫すれば町民の交流空間となる。一度計画した事業は見直さないとの行政の習性と感じるが、時代の流れや住民の意向をふまえ行政には必要な方向転換できるという柔軟性が求められ、いくつかの自治体では実行されている。	令和元年の基本構想を策定する際、以前の計画地である町営第一駐車場については、洪水浸水想定区域であることから、例えば様々な対策を行ったとしても万が一のリスクが心配であり不適との声を受け、浸水リスクの無い果樹公園に変更しました。この経緯を踏まえ、果樹公園に建設するための設計費について予算を議会に承認いただいております。
62	果樹公園を購入するのは費用が増大するので反対。	【項番61】のとおりです。
63	法務局横の駐車場は、なぜ利用できないのか。すでに更地化している。	【項番61】のとおりです。
64	【果樹公園を県から購入しての新庁舎建設に反対します】 反対理由。購入費用が高額であること(町として良い投資だとは思いません)。ハザードマップ上、土砂災害区域内であること(災害時に庁舎が被災していたら話になりません)。自然豊かな町の財産の喪失(果樹公園は老若男女を問わない町民の大切な憩いの場です)。交通渋滞の懸念(今でも1国に抜ける道が朝晩渋滞しているのに、更に交通状態を悪化させるとします)。公共交通機関でのアクセスの悪さ(山西エリアに住んでたことがあります。ラディアンは駅から離れていて行きづらかったです。坂道はつらいですが、駅前の方の方が行きやすいと思います。)	【項番61】のとおりです。土砂災害特別警戒区域からは十分に距離を取り、万が一の土砂災害に備えて北東側には堅牢なRC壁を設ける設計としています。交通については、新庁舎までコミュニティバスを通してアクセスしやすくするとともに、ラディアン周辺に必要な台数の駐車場を確保します。
65	浸水や土砂対策に多額な費用をかけてまでこの場所に新庁舎を建設しなければいけないのか。	【項番57】のとおりです。
66	ラディアン周辺は、人が訪れにくいため事務機能を集め、人が集まりやすい駅周辺に窓口機能を集める方法はどうか。	ラディアン周辺は平坦で、県道や駅からも近く、駐車場も確保できることから誰もが集まり易い場所と考えています。
67	新庁舎の規模は必要最小限とすべき	今回の設計案では必要最小限としました。当初想定で約4800㎡だったものを約4600㎡としています。
68	町民の意見に対応し、庁舎整備に真に必要なものは何かを選択する場を作ってください。	新庁舎に関する議論は当初からコストが最も大きな論点であり、特に影響の大きい床面積の削減に注力しました。一方で、他の自治体ではコストに配慮しすぎたあまり使いづらい庁舎になった事例もあります。様々な意見や相反するものも多いことから、法令や基準、構造、機能等様々な視点を踏まえた建築の専門家である設計者の意見を伺いながら設計しました。
69	議場棟はもっと簡素で良いのではないのでしょうか？	【項番68】のとおりです。
70	新庁舎基本構想の決定に不満や疑問を持つ町民が多いともう。適切に町民意見を反映させながら進めて行く必要がある。トップダウンではダメ。特に駅前地区はこれから始まるので丁寧に進めてほしい。	引き続き町民意見を丁寧に聞きながら進めていきます。
71	議会における新庁舎建設に賛成・反対双方の意見を聞いていると、町が大規模な地震災害に見舞われた場合と、一過性の浸水被害に見舞われた場合を混同して議論しているように感じます。リスクについて確率×被害で比較する手法があると思いますが、正直、浸水被害について、町全体をみると過大評価をしすぎではないでしょうか。対して、大規模な地震災害に見舞われた後の自治体の業務は、TVなどでも報道されているとおり、自衛隊や他の自治体の応援を必要とする、極めて困難で長期間に及ぶものになります。その拠点を作ることによって反対という方々は、リスクについてどのように考えているのか聞いてみたいのです。従って、一刻も早く新庁舎を建設することに賛成です。その上で、的確な財政見通しの下、バラマキ等の政策を控え、健全に町政を運営していただきたいと思います。	浸水被害はある程度予見できるものであり、ハザードマップでお示ししているとおりの状況になることが分かっています。一方で、大地震は季節や昼夜、時を選ばず、突然大規模な被害を生じ、予見や避けることは困難です。発生が高確率で予想されている大規模地震に備え、安全・安心なまちづくりのため、できるだけ早く新庁舎整備を進めてまいります。
72	新庁舎建設に反対される方からは、学校の空き校舎を活用して役場を分散すれば良いという場当たりの意見を聞くことがあります。役場の仕事は、証明書を発行していれば済むということでしょうか？私たち住民は、日ごろ役場に行く機会も少なく必要性を感じることもあまりありませんが、いざ、肉親が要介護状態になったり、生活が困窮したりした場合には、どこへ行けば良いのか考えることなく（たらいまわしにされずに）、まずは役場へ行って話を聞いてほしいと思います。町が大規模な地震災害に見舞われた場合には、私たち住民の生活を再建するために、役場の職員だけでなく、他の自治体の方、自衛隊の方などに集結してご尽力いただくために、拠点が必要になります。是非、分散という思いにつきに惑わされずに、新庁舎建設を進めてください。	これからの、町民サービスはデジタル化が進み便利になるものと、より丁寧に相談にのるものに分かれて行くと考えています。複雑な案件に対しても、役場が一体となって丁寧に対応できる体制を築いてまいります。また、能登地震において、災害復旧に大切なのは応援派遣の職員といかに連携できるかということでした。災害対策本部で迅速かつ正確に情報共有し、活動できることが大切だと考えているため、しっかりと災害対策本部機能を用意したいと考えています。
73	新庁舎建設には賛成です。現在の庁舎はあまりにも暗い感じがする。働く人の発想も保守的になり、明るい環境の中で良い知恵を出していただきたい。	【項番72】のとおりです。
74	新庁舎の建設費用は他の自治体と比較しても安価であり、町に必要な事を丁寧に進めていると感じます。議会の冊子やミニコミ紙、謎のチラシ等も読みましたが論点がおかしく根拠が疑わしいものばかりです。一部の悪意ある無責任な主張により大災害が起きた時、善良な町民を危険にさらす事になります。	【項番72】のとおりです。
75	小中学校を改修して使えば良いという意見がありますが古くて機能的に違う施設を改修して使うには構造的に無理があります。昨今の改修費用はアスベスト対策等もあって、新築に近いコストがかかります。コンクリートの経年劣化も生じ、長くは持たないでしょう。また、新しい建物は構造だけでなく、断熱性やバリアフリー、使い勝手の点等あらゆる点でコスパが良く技術的にも優れています。	【項番72】のとおりです。
76	分散すべきという意見も、外的れです。散らばった建物の維持管理や各建物ごとに生じる共有スペースの無駄、これから続く人材不足の中でのコミュニケーション不良等、全く良い事はありません。建物の家賃や管理費等を考えて、長期的に建物を使う想定であれば建てた方が安くなります。そして急に貸主に出ていけと言われたり家賃が上がったらどうなるのでしょうか。	【項番72】のとおりです。

No	意見の概要	町の考え方
77	安全安心のため、安定した行政運営のためには、庁舎をキッチンと建設すべきです。費用面について「将来世代に負担を残す」という言葉も誤解を誘導しています。これまで借金をして色々な施設を作り、多くの町民が便利になりました。借金は負債であると同時に資産でもあるのですからこれまでと同様です。自治体の寿命は人間と違って永遠なので無理なくコツコツ計画的に返せば良いだけです。借金が正義が悪かという議論は、国や経済も含めて様々な視点や考えがあります。だからと言って耐震性が無い庁舎をいつまで先送るのでしょうか。悪意ある無責任な意見にとられず、新庁舎を早急に進めていくべきです。	引き続き健全な財政運営のもと計画を進めていきます。
78	新庁舎完成の際には、竣工式などのセレモニーを開催するか。するのであれば、ニーノ・ミーヤのモニュメントや、"二宮つながり"で二宮和也さんに来てもらうなど盛大に実施してほしい。	セレモニーの開催やモニュメントの設置などは今後の検討になりますが、建設段階における内覧会の実施など、町民の方々にも事前に公開する機会を設けたいと考えています。
79	町役場の新庁舎建設について、賛否両論を考慮した上で支持する。建設にはもちろん税金を使用するという点で、一部からは無駄遣いと受け取られかねないが、現在の庁舎が老朽化しており、災害時には防災拠点としての役割を果たすので、町民目線からも必要性を感じる。第一に、老朽化した庁舎は従業員や町民の安全を脅かす要因となる。近年の地震や自然災害の増加を考慮すると、現代の防災基準に適合した新庁舎の整備は喫緊の課題である。安全な施設が確保されることは、私たちの共同体全体の安全と繁栄に直結する。	町民みな様の安全安心のため、計画に沿って進めてまいります。
80	新庁舎は単なる行政機能の場にとどまらず、コミュニティの中心としても機能する潜在力を秘めている。町民が集い、交流できる場を提供することで、地域社会の結束を促進し、活性化に寄与することが期待される。この点においても、投資の見返りは大きいと言える。	新庁舎の機能としても交流が生まれるよう計画しています。
81	この計画で速やかに進めてもらいたい。基本設計に至るまで何年もの時間をかけている中で、補助金の活用ができなかったり、建築に関する費用が高騰したりという状況になっている。計画に反対する人は何をやっても反対するので、いつまでも意見を聞いていても仕方ないと思う。町民や職員の安全を確保するためにも、新しい庁舎は必要不可欠なので、少しでも早く建設に向けて進めてもらいたい。	町民みな様の安全安心のため、計画に沿って進めてまいります。
82	新庁舎の基本理念「町民の安全・安心な暮らしを支える拠点となる庁舎」に期待を寄せている。安全性の確保は地域社会の基盤であり、災害時や緊急時に迅速に対応できる防災拠点が重要だと考えている。現在の町の施設では、十分な安全性の確保が難しく、この計画により町民が安心して日々の生活を送ることができる環境が整うと信じている。新庁舎が、安心と安全を提供する中心的な役割を果たすことを望む。	町民みな様の安全安心のため、計画に沿って進めてまいります。
83	現庁舎の耐震基準が問題であることについて、いつ大規模災害が発生してもおかしくない現状、防災を含む行政機能を喪失させないため、町民や職員が安心して利用できる施設であること、存在であることはいつの時代においても町にとって最も基本的なことである。	町民みな様の安全安心のため、計画に沿って進めてまいります。
84	新庁舎建設は将来的に長期に大きな財政負担を強いるもので慎重に検討を進めなければいけないことである。既に町内公共施設は老朽化した建物も多く、長期的に見ればいつかは新しい庁舎を建てる必然性があることから既存建物への移転は問題の先送り感を感じる。行政機能を集約することで施設利用者の利便性は向上すると思うし、設備、機能などを確実に改善できるものとして今回の町の提案については賛成である。	町民みな様の安全安心のため、計画に沿って進めてまいります。
85	新庁舎建設計画は「大反対」である。令和元年に建設は「白紙撤回」された。この5年間十分検討されているだろうと思いきや、又、同じ様な計画、さらに金のかかる計画が上積み、提示され「何を考え、白紙撤回を受けとめてきたか、疑問に思う。新庁舎建設に対し、私(たち)は、いろいろ案を提出した。にもかかわらず、それに対する検討結果は何も示されず、誠意がないと思います。案を考えるにあたり。1)予算を切り詰めできるだけ安価に…でも機能は十分に。2)少子高齢化で人口減少する。住民に税負担が無理のない様に。3)学校の教室も空いている。小中一貫教育もスタートしている。学校の統廃合も考える。4)交通の便がいいこと。人の出入、利便性、駐車場も広く確保できる。5)既存の建物を利用する。もちろん、安全は確保し改修する。6)インターネットの普及で町の業務の仕方も変化していく。7)万が一災害が発生しても住民を安全に避難できる広い面積の場所は確保しておく。手をつけない。8)仕事は建物が行うのではない。見てくれでなく実をとうろよ。等々を考え「二宮小学校を役場として使う」案を提出した。報告がないということは、あれは形だけ(ジェスチャーかセレモニーか)だったのかと…。全く誠意が感じられない。今回の案56億！！何の前ぶれもなく、突然出た！驚いた、あきれた、金銭感覚のなさに…。新庁舎建設のことだけでは念頭はないのか…。職務怠慢であると思う。住民に目がいついていない、と思われる。業者に依頼すればかなり理想的なプランができるでしょう。でも、お金の負担をするのは住民です。税が増えれば二宮町を転出する人が増える。そうすると税収入が減る。残った住民でその分を負担、税が増える転勤者が増える…という悪循環に入る…存続が心配、町の魅力がなくなる。未来を託す、こどもたちに負の遺産を残さない様、官民一体となって魅力ある町づくりをしようよ。これら意見を受留め、二宮町の置かれている状況を考え、検討して欲しい。町の財政が潤ったら理想的なプランを実施すればいい。それまで我慢我慢！！魅力ある町づくりに叡智を出し合い頑張ろう！！	【項番2、49、57、72】のとおりです。財政については、「令和6年度二宮町財政見通し」で令和15年までの財政状況の見通しをお示ししました。財源を工夫することで、町民サービスが低下することなく建設可能と考えています。また、庁舎建設に伴い新たに町民税が増えることはありません。今後も、財政運営について過度な負担が生じない様に進めてまいります。
86	庁舎と福祉会館の総事業費39.5億円のうち15.3億円を将来世代が負担することが当然になっています。ただでさえ国が積極的に借金や年金や保険を将来の世代に負わせているのに、町として建設時に意見を言えない将来世代に新規の建設費を負担させることはやめるべきです。現世代の意見で建てるので、現世代と国の負担(総額24.2億円)または現世代負担(17.4億円)で実施できる範囲の、庁舎と福祉会館をひと棟の平屋建てに集約した案を、次の内容を読んでいただいて検討ください。敷地面積10,000㎡、建蔽率60％、延べ面積5522㎡(北棟3650㎡南棟957㎡福祉会館915㎡)であるので十分にひと棟平屋建ては可能です。町が考えるひと棟のデメリット「複数棟をひと棟の平屋建てに集約すること」を移動町長室で提案したところ、担当者から「デリケートな相談が多い教育委員会や子どもセンターの建物は分けるべきだと専門家に確認した」と回答がありました。専門家に確認した内容と専門家の回答の内容を公表してください。何人の専門家の意見ですか？全員が別棟以外は認めない考えですか？同棟でも可能と考える専門家に同じ建物でも北側端と南側端に分けたり、1階と2階に分けたりすることでは可能か否かの回答と理由を確認し内容を公表してください。	当初、新庁舎は1棟で考えていました。設計プランについては、一体、別棟それぞれの考え方について、現場の担当者の声と専門家お一人の方の助言を参考に、町が設計者と検討し、総合的に勘案した上で、【項番10】も踏まえて2棟としました。
87	ひと棟のメリット。高齢者と障害者の職員と来訪者の他棟への移動における負荷(移動距離、段差やドアの開閉、寒暖差や荒天の上着等の脱ぎ着)が無くなります。各棟の共通部分を集約することで、重複した部分(給湯室やトイレや会議室や相談室や更衣室等)を削減でき、かつ効率よく配置し無駄なく活用し一括管理できます。レイアウトは北棟の全執務室を北側に、会議室等個室を中央に、南棟の子ども家庭センターと教育委員会と社会福祉協議会を南側に、トイレ及び水回りとその他施設と倉庫を東側に集約します。中央部分について。壁を全て吸音効果のあるスケルトンの可動式にした3畳個室を基本とします。可動式な為、臨機応変に必要な広さの部屋が確保できます。職員減少や町合併時に多大な改装費用なくレイアウトを変更できます。また災害時には、素早く壁にブルーシートを添付しプライベートな避難室が多数作成できます。集約する部屋は、議員控室図書室打合せ室、議会事務局・監査委員事務局、正副議長室、前室兼会議室、議場兼委員会室、相談室、のびのびルーム、災害対策本部室、町長室、副町長室、公室、教育長室、教育支援室、教室、男性休養室、女性休養室、デジタル推進室、会議室兼休憩室、管理室、図書室です。	【項番86】のとおりです。
88	議場兼委員会室について、移動町長室で町長が「スクリーンやケーブルテレビ中継で議場は特別対応が必要」と回答していたが、戦地から現地の人がスマホで情報を世界中に配信できる現代です。全館に無線ランを導入すれば、庁舎内どこからでも、議員がスクリーンでなくタブレットで資料を確認し、発言者がスマホで自撮りする画面を流せば、十分に議会中継ができます。それとも議員や委員会は、必ず3階という最上階で、常設の会議場でないと議会が開けないという法律があるのでしょうか？教えてください。	議会については発言の記録や正確性、傍聴者の方のための手話や字幕の表示、ヒアリンググループ等も求められることから専用の部屋としました。常設や最上階という法律はありませんが、1階から2階については利用者の利便性を考慮し窓口を配置しています。なお、議場兼委員会室については、移動式什器を設置し、非常時に活用可能なスペースとする予定です。
89	東側について。男子トイレ7か所と女子トイレ7か所とみんなのトイレ2か所が分散しているが、みんなのトイレ16個を東側一列(西側扉)に並べれば、いかなる人物でも気兼ねなく順番に使用でき、更衣室や授乳室としても活用でき、みんなのトイレ16個の西側扉が映るように防犯カメラを設置すれば犯罪抑止につながります。あとは厨房、給湯室、サーバー室、防災倉庫、資材倉庫、ランドリー、書庫、出納室、宿直室、消火ポンプ室、印刷室です。	トイレ等の各機能についてはバランスを踏まえながら、全体の面積の縮減に努めながら設計しています。法律や基準への適合性や費用対効果等、様々な点から総合的に勘案して町が決定しました。防犯カメラについては、各出入口やトイレなども含めた主要な動線に設置する考えです。
90	平屋建てのメリット。費用が減る(耐震化費用や工期の減や足場費用や昇降機2基と階段の設置費等の建設費、昇降機2台や高所の窓拭きや壁検査メンテナンス等高所作業費等のランニングコスト、解体費)階段と昇降機の不要物のスペースが減る。高層階による余分な住民対応が発生しない(「庁舎とラヂアンと福祉会館に挟まれる住人が高層階からの視線や高層階の威圧感や高層階と福祉会館による風流の変化等について町から説明しているか」と移動町長室で確認したところ、担当者からは「現在の住人には理解を得ている」と回答がありましたが、建設後にかかることも多々あるので、住民対応が増えることが懸念されます。一色小学校の新校舎が出来た時は、新校舎真横の一軒が町に苦情を度々申し入れたのち転居を余儀なくされました。また6軒が電波障害の為に集合アンテナを新設しました)	建築コストに占める割合は基礎や屋根部分の割合が多く、平屋建てでは25％程度割合になる見込みであること、また、建物の近くに駐車場や車寄せを確保したいことから採用しませんでした。コストを重視して容積効率と費用対効果の高い総3階建て、総2階建てとしました。電波障害については、実施設計の中で詳細な調査を実施して対応を検討します。

No	意見の概要	町の考え方
91	平屋建てのデメリット。庁舎北棟を3階建て、南棟と福祉会館が2階建てでなければいけない理由を回答ください。	【項番90】のとおりです。
92	「利用者が集中して女性トイレと障害者トイレが不足することが解消でき、異性同士の親子とジェンダーレスが気兼ねなく安心安全に利用でき、また清掃員は性別の気兼ねなく作業できる為に、全てをJR東日本の車両にあるようなみんなのトイレにする」ことを移動町長室で提案したところ、担当者より「高額でできない」とのみ回答されましたが、男子トイレ・女子トイレ・みんなのトイレの各設置単価はいくらか？トイレの変更をしないなら懸念事項の対処法を回答ください。利用者が集中して女性トイレと障害者トイレが不足する場合の対応異性同士の親子とジェンダーレスが気兼ねなく安心安全に利用できない場合の対応。清掃員は性別の気兼ねなく作業できない場合の対応。各7か所の男女トイレの盗撮や痴漢やいじめ等の防犯の手立て。みんなのトイレは庁舎北棟1階と福祉会館1階に各1個しかない理由を回答ください。職員に障がい者や高齢者を採用しない予定だからですか？上層階や南棟にいる障がい者や高齢者等の議員や職員や来庁者がみんなのトイレを使用したいときに、北棟か福祉会館の1階に移動するのは当然と考えているからですか？	今回の仕様における男性トイレ(小3、大3)、女性トイレ(大3)、みんなのトイレはそれぞれ1室あたり同程度の価格です。基本的には待ち時間をどの程度考慮するかという考え方でトイレの数を設定しますので、集中した場合でも基本的にはお待ちいただき順番にご利用いただく考え方になります。異性の親子とジェンダーレス対応についてはみんなのトイレの利用をお願いします。清掃員にはトイレの設置状況を理解した上で業務に取り組んでいただきます。盗撮やいたずら等は防犯カメラの設置や職員による目視による対応を想定しています。みんなのトイレの数は神奈川県「みんなのバリアフリー 街づくり条例」に適合するように各建物に一機設置しました。
93	1.「町のこれから」について。しながら、二人でフルタイム勤務が出来る町にする。おとなになったら、この町で子育てしたいと思える町にする。 2.「町のこれから」の実現方法(案)。駅徒歩5程度の所に、マンションの誘致。マンションには、保育園を併設する。マンションに保育園併設が困難な場合は、マンションから保育園経由で駅までが徒歩10分程度の所に保育園を設置する。保育園は、0歳児から保育と、7時～22時程度の保育を可能とする。 3.前項を踏まえた“ラディアン周辺行政機能集約基本設計(案)”への意見。北口通り商店街(はな通り)付近で浸水想定区域外と駅周辺地域に、町役場機能を分散移転する。最近の激しい気象の変化を考えると、想定より大規模に土砂災害が起こる可能性も高い。建物強度の想定を超える場合や、建物へのアクセスが寸断され防災拠点としての機能低下も考えられる。二宮小学校体育館の建て替え計画に、一部町役場機能を移転する場を設ける。移転を機会に、ネット社会を見据えた町役場「業務の要不要、やり方」の見直しが必要。「価値観の多様化、技術の進展、激しい気象の変化」のため、状況の進展を見ながら徐々に小規模で分散型の建物施設を「長期で整備」すべき。このほうが、より町民満足度が高くなると考えられる。変化の激しい時代は、大きな予算で「半世紀に一回の建築計画」の立案は困難で、実現はより難しい。	1及び2については、ご意見として賜りました。3については、二宮町には高さ制限があるため容積率の高いマンション建設は難しい状況です。役場機能の分散化については【項番49】のとおりです。
94	トイレのスペースの見直しをお願いします。男子トイレに比べて女子トイレが狭いです。女子トイレは一人あたりのかかる時間が長いことを考慮してもっと便器数を増やし、男女間の格差のないトイレ設計をお願いします。	庁舎のトイレについては、女性職員に現状のヒアリングを行い、空気調和衛生設備工学会の算定方法により、コストや管理の面を総合的に勘案してプランとしました。
95	平塚市役所(税務署)みたいに総合受付所みたいなのを設置すれば、今は聞きたいことを各部署に聞かなければいけなくなるので、ぜひ設置して欲しいです。	現庁舎にも、総合案内を設置したこともあります。二宮町の規模では、窓口職員による対応が可能だと判断しております。新庁舎でも、最初に座った場所に必要な職員が何うワンストップサービスを提供できるようレイアウトを検討しています。
96	今まで出ていた使わなくなった建物を使う案はないのですか？	廃止した公共施設で役場庁舎として利用を考えている建物はありません。役場機能の分散化や民間施設の利用については、【項番49】のとおりです。
97	実施設計段階で、ルーバー柱によるウィンドキャッチについては、現状の断面図だと排煙窓の記載のため、ウィンドキャッチがより適切に行える縦張り窓等の形状とするよう検討をお願いいたします。	今回のプランは機能性を確保しつつも、コストやメンテナンス性を重視したプランになっています。設計に関する詳細については、ご意見として賜りました。
98	今の場所が適当、役場と町民センター併せた施設にリニューアルしたら良いと思う。予定地は地盤が悪く適当では無い。現在、ラディアンや百合ヶ丘に、役場機能があるので町民は不便しておらず、わざわざ自然を壊す必要は無いと思う	平成29年度の「二宮町役場庁舎整備手法調査報告書」において、既存庁舎耐震改修、現在の位置での建替、ラディアン周辺へ移転、東大果樹園跡地へ移転について検討した結果、ラディアン周辺への移転が望ましいとの結論を得ました。建設地を果樹公園とした経緯については、【項番61】のとおりです。
99	『正面玄関』。私の考えが古いのかもかもしれませんが、各庁舎には正面に玄関があり、建物の顔であり威厳が伺えます。図面で見ると、角脇に入口が設置されているのが気になります。	ラディアンとの動線、駐車場との配置を重視しました。ご意見として賜りました。
100	『地下室及び文書保管庫の設置』。新庁舎に地下室は無いのでしょうか？膨大な書類の保管倉庫が必要だと思われますが、地下室の浸水懸念等は図書館も同じだと思います。予算的に今造るのが無理でも、後から増設するのはもっと無理です。	建設コストへの影響が大きいことから、地下室は配置しませんでした。デジタル化を進め、文書量を削減することを前提のプランとしています。
101	『小さなコンビニ店設置のお願い』 雨の日にも外に行かないで済むよう、職員の福利厚生を目的に、又、町民が来訪の折、立ち寄れるような小さなコンビニを設置していただきたいです。できれば、その場で外の景色を見ながら購入したものを飲食できるようなスペースがあれば、尚、良いと思います。	コンビニエンスストア各社への出店について打診しましたが、難しいとのことでした。飲食スペースとして、新庁舎内に「ともしびショップ」を設置します。
102	庁舎内にコンビニや売店は設けないのでしょうか？	【項番101】のとおりです。
103	『移転後のキッチンカーの参入のお願い』 上記に伴い、新庁舎移転後に、外にキッチンカー(種類、ハンバーガー等3台程)のスペースを確保、参入していただきたいです。以上、ご検討お願いします。	フラットな駐車場や、休憩スペース、庁舎の一部利用など、花の丘公園と連携しながら休日における朝市やイベント開催を想定したプランになっています。
104	学校で新庁舎のチラシがくばられたとき、木が切られてしまうのに何で作るのだろうと思ってはなたいしました。でも、ざいに聞いてみて、「古い木や、びょうきの木をのうやくを使ってのこすのではなく、子供の未来に元気な木をのこしたい」と言っていました。なので、そこはなっとくしましたんですけど、チラシに書いてほしかったです。全部かけないのはわかりますがイメージ図少し小さくして、大事な部分をもっとちゃんと書いてほしいです。木やしばふを全部なくさないで二宮の自然も多くのこしてほしいです。新庁舎を、切った木で作れませんか？むりならまきにするなどむだにしないよう、おねがいします。(それがむりなら)新庁舎の外見と内見を木のふんいきにしてほしいです。あと、とりのすが作りやすそうなデザインにしてください。よろしくおねがいします。	果樹公園の木は、多くの木が高齢化しており、維持管理費についても課題となっています。果樹公園や果樹栽培の歴史を継承しつつ、伐採する木についても有効的に活用する方法を検討します。
105	現庁舎の「耐震性」「老朽化の程度」について詳細に教示願います。「ゆえに」ラディアン周辺へ家庭センター複合しての新設は過剰ではないか。ましてやラディアン改修、福祉会館新築など、どさくさ紛れで言語道断である。	二宮町役場庁舎整備手法調査報告書において、現在の庁舎の耐震脆弱性及びコンクリート強度不足が指摘されています。
106	DBO方式を検討しているとのことだが、地元の事業者が参画する可能性が遠ざかることが心配だ。これだけの事業を地域経済活性化に活かす方案は。	新庁舎整備については、デザインビルド(DB)方式での発注を検討しています。外構工事や周辺道路整備等については地元事業者への発注可能な手法とします。
107	平成29年12月にまとめられた「二宮町役場庁舎整備手法調査報告書」が、新庁舎整備についての基本的な方向性を示していると考える。この報告書から基本的な立場や方向で変わったことはあるのか。	方向性は変わっていません。基本構想、基本計画と引き継ぎながら今回の設計(案)としています。
108	新庁舎整備について、町民にとって利用しやすい庁舎であることはもちろんですが、町民は用事のある時にしか使いません。庁舎で働く職員が働きやすい環境であることが一番だと思います。職場環境がよければ、モチベーションも上がり、業務効率も上がるので、結果として町民サービスの向上につながるのではと思います。ぜひ現場の、特に窓口や直接町民に接する機会の多い担当職員の意見を聴いてよりよいものにして下さい。大変だと思いますが頑張ってください！	町民みな様の安全安心のため、計画に沿って進めてまいります。
109	今回の公共施設の集約化は是非進めていただきたいです。 国内において年々激化する自然災害、特に南海トラフ地震や首都直下地震の30年以内発生率が70％程度と言われている中、有事の拠点となる役場庁舎が脆弱なのは大きな問題であり、直ちに改善しなければならぬことだと思います。 ただ、公共施設の整備にあたっては、これから先長い年月使用することを考慮し、基本設計にも言及されているように、メンテナンス性に優れ、ランニングコストを抑えた運用ができる施設を目指してください。	計画的に公共施設の総床面積を削減しつつ、新庁舎建設により、町民の安全・安心が高まるためできるだけ早く計画を進めたいと存じます。
110	庁舎づくりというのは町の将来ありたい姿を映すものだと思っていて、私はこの町の今後に向けたキーワードは子ども(子育て)と環境と循環だと思っていますので、それを体現する庁舎にしてもらいたいです。例えば、県産材の木をふんだんに使った庁舎にもらいたい(八雲町のような)、なるべく新建材は使用しないでもらいたい。	費用対効果を検討しつつ、できるだけ環境に配慮した建物にしたいと考えています。
111	子どもたちや大人にとっても新しい建物が一つ建つというのはとても興味に満ちているものだと思うので、建っていく過程は教材となると思います。建てたあとも使われている材料や、技術が学べるような(どれだけ省エネになっているかなど)工夫があるといいと思います。ただハコモノを作って終わりではなく、町民全体でどういう町にしたいかを議論し尽くして建ててもらいたいです。建設のプロセスに町民が関わることは非常に大事だと思います。	【項番78】のとおりです。

No	意見の概要	町の考え方
112	再三にわたり意見しているが、ともしびショップの場所は各種手続きや相談業務を行うフロアではなく、交流を主目的としたスペースに入ってほしい。来庁者の動線にかかる不安から実務担当者として下記の意見を出してきたのだが、社会福祉協議会の要望が最優先である理由がよく分からない。1階は戸籍や税、保険、困窮など最重要の個人情報扱うことから、待合や相談コーナーには付添人の分も含めたゆとりが不可欠である。現在のフロアでは、高齢者をはじめ聞こえにくい来庁者に大声で説明する職員の隣で、それをさらにかき消すような大声で別の職員が来庁者に説明するという喧騒場面がしばしば見受けられる。待合フロアは交流や賑わいの場ではなく、案内や呼出しをはじめ、手続きが効率的に行われ、困りごと相談には腰を据えて対応できる環境でなくてはならない。ともしびショップにはもっとゆったりとした雰囲気の中にいてもらいたい。デジタル化によって、こうした手続きフロアの人口密度が減るといのはあまりにも都合のよい想定で、楽観的すぎると思う。建設費用を抑えるために建物全体のスケールは当初より縮小しているはずで、(細部は追って詰めるとのことだったが)待合に椅子などを配置した場合の通路幅がどのくらいなのかを示していただきたい。イメージイラストは記載台、待機用椅子などの什器を省略し過ぎている。また、公開された平面図には機構改革を想定してか、どこにどの課が入るか明記していないが、パブリックコメントに供するには不十分だと思う。喫食スペース(ともしび)を1階から外し、北から南に向かって戸籍⇒税務⇒福祉・高齢⇒相談ブースとし、指定金融機関を含む会計窓口は税務の隣、すなわち最北端に配置するのが適当と考える。現在の役場1階の業務の日常なり来庁者の動線をよく観察し、配置を修正されたい。	役場の手続き面からのご意見かと思います。今回のコンセプトは、庁舎機能と同時にラディアン周辺が町民の方々にとって居心地の良い場所となる拠点づくりを目的としており、様々な当事者の方々のご意見も踏まえ、今回の基本設計(案)としています。
113	せっかく立て直すなら、町民の交流や憩いの場がある空間、1日を通して人の流れを考えた動線を研究して取り入れて欲しい。多世代が集まっておしゃべりしたり、ミニマルシエやワークショップが出来るくらいのオープンスペースをコモンエリアに作って欲しい。昭和的な近未来っぽい現状のデザインで無機質にして色々な機能をつけることよりも、木や竹や炭を多用した温かみのあるデザインを企画して欲しいです。結果「人」が集まり親しみを持って活用して、落ち着いて利用出来る雰囲気の中に人同士の交流が生まれると、結果的に地域の活性化に繋がると思います。外に面したオープンカフェスペースやフードトラックが横付け出店出来るスペースなどがあってもいいなと思います。町の職員も町民も共に利用し大切にしていきたいと思う場所作りから始めたいです。建設の過程に二宮町ならではの町民参加型のDIY手作りの要素があるといいなと思います。町民みんなでワークショップで参加する機会がある。庁舎周りに果樹公園の伐採した木などを使い、木を地面に埋め込んでの小径を作る。(小布施のように木のタイルのような道作り)1階部分の外壁や内壁の下半分などに間伐材や古材を使う(秦野の今日のおやつさんや国府津のもあな保育園とかのような)麟のようにして、みんなで貼っていくとか。峠公園のセコイヤとか大きな木を使ってイスやテーブルやベンチを作る。町内で間伐や解体時に出る木材も再利用する。それを使った家具なども館内に配置する。周りの竹垣をワークショップ形式でみんなで編む。紅葉樹針葉樹、多様な植樹をして日本の暮らしの中で重宝されて来た木、クロモジとかマテバシイ、イチヨウなども植樹をして日本の文化を伝える。(楊枝を作ってみたり。どんぐり団子を作ってみたり、みんなで炒って食べたりetc…)2024年の今の二宮町らしいエッセンスを取り入れた、これから先50年、100年先に環境負担の少ない建物になりますように。	基本計画をベースに庁舎に必要な機能を精査し建設コストやランニングコストを合わせ費用対効果を優先した考え方で、今回の案を策定しています。詳細提案については、ご意見として賜りました。
114	省エネ+創エネで0%以下まで削減の完全なZEBを目指すことで、環境負荷低減と町民への啓発を行う。庁舎に行けば環境負荷低減の取り組みを自然と知り、触れ、学べる仕組みをすることで、温室効果ガス排出がもっとも多い家庭部門の排出削減までを最終目標にしてロードマップをデザインする。	将来の設備更新まで含めた費用対効果を鑑み、ZEB Readyを目指します。
115	活発な町民活動を後押しするように、ミーティングルームやフリースペースを多く作ってほしい。	会議室やロビーなど町民利用を想定した配置としました。
116	駐車場は引き続き無料で、多くの方が訪れやすいようにする。timesといった営利企業とは提携しない。自転車置き場も充実してほしい。	ラディアン周辺は様々な駐車場形態があり、分かりにくいため統一の管理運営形態にしつつ、キャッシュレス決済やスマートフォンでの満空状況確認など利便性を高めます。自転車置き場についても基本計画における必要台数を確保します。
117	環境配慮のため、LEED認証を取得できるレベルで建設を進めてほしい。町民への啓発にも期待できると思います。また、県産材や古材のリユースなど、木材や天然素材を多く使い、県内の第一次産業を応援しながら「地域自給圏」としての好循環を作してほしい。	様々な建築に関する指標がありますが、町では国土交通省の基準に基づき、ZEB認証を取得することを基本に計画しています。費用対効果を念頭におきつつ、室の機能性に配慮して選定してまいります。
118	RE100の実現を望む。現在のプランだとRE100を上演するが、50%とのこと。再エネ利用を拡大して100%を目指すべきだ。色々な面で環境に配慮された設計になっていると考えるが、最も説得力がありアピールするのはCO2ニュートラルだと考える。今一步のところ実現できていないのが歯がゆい。是非RE100を実施願います。	現庁舎でも、令和5年からRE100の電力を使用しています。引き続き、RE100を条件とした電力調達をしてまいります。
119	議会や町長など、政治に気軽に触れられるようなレイアウトにし、多くの町民が主体的に町づくりに興味関心を持ち、関われるような「障壁」の少ない作りしてほしい。	議場はバリアフリーデザインにするとともに、映像や音響機器など、どなたにも分かり易い設備を導入してまいります。
120	東京の大企業と契約するのではなく、小さきてもESG投資に値するような環境配慮の企業を応援する意味でも、そういうところと契約して欲しい。	工事費に応じて受注可能な事業者ランクが決まりますので、契約規則に応じて選定してまいります。
121	働く町役場の職員が働きやすい環境整備は重要だと思いますが、人口が3万人にも満たない、今後も人口減少が見込まれる町に計画にある様な身の丈を超えた施設は必要ないと言わざるを得ません(借金も過大過ぎ)。今後、色々なものがDX化されて行く中で町役場の機能もDX化を推進しスリム化を図らなければなりません。今までの様に何かを申請するのも役場に行かなくてもスマホや自宅のパソコンからネットで出来るようになれば大きな役場は必要ありません。小さくても良いはずです。本もデジタルで読む様になれば多くの本を置くスペースも必要なくなります。災害拠点も既存の小中学校を活用すればこと足ります。小中学校を統廃合し、町役場の機能は空いた所を改修して使えば良いと思います。町には空き家が増え人口も増えず、将来も徐々に減少して行くでしょう。温水プール等も廃止している現状で財政的に厳しいのは明白です。この計画が町が発展して町民の暮らしが豊かになる様な計画には到底思えません。町の施設も見直しをして、必要がない施設は売却したり、更地にして町に企業を誘致したり町税収が増え、人を呼び込む施策を考えなければならないのではないのでしょうか。今後の町役場はスリム化を図らなければならないと考えます。	【項番2、49】の通りです。
122	私は、二宮町に育ち、就職と結婚を機に離れましたが、親の介護もあり再び帰ってきました。旧・園芸試験場は、子供時代の遊び場所で、長い通路は自転車の乗り方を覚えるのに最適な場所でした。自宅の眼下には、当時は桃畑があり、春にはそこはピンク色にそまりました。ということで、家の真下が現在の芝生広場となります。私ごとですが、家からの眺望は芝生に大きな樹木、百合丘団地、新幹線、丹沢連峰が望め、それを見ながら育ったのです。①老いた親は、何度か行われた説明会や、候補地の図面など、情報を自ら取りに行くこともできなかったのも、本件以前の状況はまったく知りません。帰ってきて、ネットでの公開情報や、かつての町の広報などを調べて、知るに至ったのは次の通り。新庁舎の候補地が2か所。A法務局の隣の駐車場(ラディアンから真っ直ぐの回廊となる)。B果樹公園管理等の前のあたり。Aは浸水危険エリアにあることで、その対策費用がかかること。こうして、AかBのプランで地域住民への説明も行われた②費用も考慮し、Bの場所で開催が進められるという認識にありました。③ところが、今回の公表されたプランは、それとはまったく異なる、いわばCプランともいえるものです。Cについて、説明資料などが私が帰ってくる前に出ていれば申し訳ありません、調査不足です。しかし、いきなりCが出てきたとしか思えません。長くなりましたが、以下が意見と質問です。◎今回のプランが経過説明もなく、なぜさらにはAもBではない場所やプランで出てきたのでしょうか？このプランが案として出てきた経緯を説明して欲しい◎議会での質疑応答も、詳細に公表して欲しい。議会だよりが途絶えた月があるように認識している(違っていたらすいません)新プランがいきなり出てきたことへの不信感はぬぐえません。新プランと年度内の基本設計という工程に反対をいたします。再度ですが、これまでのプロセスを初期のものからすべて開示して欲しい。ともかく、年寄りにも、わかりやすく、明快にして欲しい。	基本計画に対し建物配置が南側に伸びたことについてかと存じますが、教育委員会や子ども家庭センター機能の配置について検討した結果、子どもの発達や学校生活などデリケートな相談への対応として、別棟(南棟)としたためです。新たなプランとして機能を追加したものではありません。建物配置として分けたものです。なお、議会における質疑応答については、町ホームページから会議録を閲覧可能です。
123	峰岸山は、かつて土砂崩れもあり防御壁も設置されましたが、それでも危険な状況で、樹木の倒木も何度かあった。雨水の地下水が通っていて、我が家や隣家の下から芝生広場の水路に流れているものと思われます。眼下に建物ができることの地盤の影響、水の流れの影響などは考慮しているのか、対策も含めて聴かせて欲しい。	建設に伴い、敷地周辺の水路整備や改良等を検討してまいります。
124	環境配慮型の庁舎デザインを強く望みます。見た目やデザインで伝える力も大きいと思うので、外観を全て県産材にするとかの思い切った手法も必要かと思います。同時進行で行われている気候市民会議にも地球会議メンバーとして関わっていますが、ここで話されていること、目指していることが庁舎デザインに反映されるのか、、、そっちはそっち、こっちはこっちの仕事では伝わる力を損ねてしまうなあと感じています。果樹公園の木々をほとんど伐採しての建設と駐車場等はアスファルトを敷き詰めるようなデザインと見えます。夏はラディアン駐車場に車を停めるのも躊躇するほどの熱なので、駐車場って屋根をつけるわけにはいかないのかなあ、、、と常々思っていました。半分的面積だけでも。あと、全部をアスファルトにしないで、合間に木を植えるとか花壇があるとかも考えられるといいと思います。地面が暑いと結局空調に頼ることになってしまうので。。。緑が多く、開放的で風が通る、そんなみんなが行きたくなくなるような庁舎になったらいいなあと思っています。	新庁舎に関する議論は、当初からコストが最も大きな論点であったため、目標コスト必達のため検討を重ねた設計となっています。環境配慮の視点も重要と考えていますが、耐久性やメンテナンス性を含めランニングコストの面からも考慮しています。外構等、コストインパクトが小さい部分や、町民の方々に接する室などの機能性、費用対効果について細部を検討します。屋根、ひさしについては、ご意見も多く町民の方の利便性の点からもできるだけ設置いたします。

No	意見の概要	町の考え方
125	事業にかかる費用について。庁舎の老朽化の為、新庁舎建設は必須の事と思います。しかし、見た目に拘らず、外装、内装に必要以上にお金をかけず、仕事がしやすいシンプルな型で費用をおさえて実施してもらいたい。	【項番124】のとおりです。
126	周りに3階建ての鉄筋コンクリート造ができることで、陽光や水脈など県天然記念物の桃・梨の原木群への悪影響が懸念されます。	神奈川県天然記念物である原木園の保存については、県の農業技術センターが引き続き管理することになっており、すでに県とは調整済みです。
127	奥への駐車場整備は、歩行者にも危険ですし、青少年のアクセスを考えると駐輪場整備が必要だと思います。	駐車場への車両動線については、歩道や横断歩道を設け、歩行者が安全に通行できるように配慮いたします。また、北棟及び南棟それぞれの近くに駐輪場を設置する予定です。
128	新庁舎整備について賛成です。 地震などの災害時において防災拠点となる役場庁舎機能は必要であり、役場庁舎に耐震性能が確保されていないということは、いざ大規模地震が起こった際の復旧・復興に致命的なダメージとなりかねません。また、大規模地震発生時の機能面の話だけでなく、役場庁舎には多くの職員の方々が働いているほか、手続きや相談事などで役場に行く人達も多数いることから、そういった方々の命も常に危険にさらされていると言えます。 仮に大規模地震が発生し、役場庁舎が耐震性能不足により倒壊あるいは崩壊した場合、職員の方々をはじめ、建物の中にいる多くの人達も無事では済まないことが予想されます。もしそのような状況になれば、その後の災害対応の動きにより一層の混乱をもたらすことでしょう。そのような事態を防ぐことから、早急に新庁舎整備を進めるべきと考えます。ただ、新庁舎整備にあたっては、職員の方々から見て使いやすいというだけでなく、役場を使用する町民の目線で、使いやすくわかりやすい庁舎となることを願っています。(ハード面だけでなくソフト面も含めて)	町民みな様の安全安心のため、計画に沿って進めてまいります。
129	現庁舎を改修する場合などの計画も詳細に示すべき。温水プールを改装し庁舎機能の一部を入れたらどうか。学校の空き教室に行政サービスの機能の一部を入れたらどうか。機能分散は災害時のリスク分散になり得る。他施設に一部を移動し現庁舎を改修すれば良い。	【項番37、49】のとおりです。
130	デジタル推進事業を進めてきているのだから1/3程度の職員は在宅勤務とし、面積の縮減をはかるべき。少ない予算で最大の効果を出さなければならない。少ない予算としては在宅勤務を取り入れる事での面積縮減。	在宅勤務については、業務内容により導入が可能な部署において、費用対効果を見ながら進めていきます。
131	事業内容として、中長期的な財政負担も含め妥当と思います。ただ、当初の耐震性を考慮した庁舎の建て替え案から、事業内容は拡大(新庁舎建て替えのみでなく県所有地の購入、行政機能集約など)しています。改めて費用対効果と運用コスト(ライフサイクルコスト)をわかりやすく説明することは必須と思います。費用の説明については他の自治体との比較で同程度なので妥当な事業費であるということではなく、機能を集約することによる利用者側の利便性の向上。執務する職員の負荷の軽減や効率化。施設を更新することにより想定される運用コストの削減。住民サービスの付加価値など簡便に明示してもらえると良いと思います。(この事業の目的は新庁舎に建て替え、設備機能を集約することだけではなく、より良い住民サービスを継続して提供するためのインフラ構築であることを明確にし、単純に庁舎の建築費が高い。将来の財源負担が多いから良くない。という誤認識がなされないようにすることも重要と考えます)安全面、工期などに負担をかけるかもしれませんが、説明の一助として事業中(建築中)の内見や工程の説明会などがあると町民の理解も深まるのではないかと思います。今回の事業は設備の新設になりますが、新設した設備の運用観点で考えられた、今後提供されうる行政サービスなどの対応ビジョンが明示されると良いと思います。特に今後避けられないデジタル化の推進、拡大、深化(AI活用、個人情報集約、生体認証、電子手続きなど)とそれに伴うセキュリティ確保についてのイメージがあると利用者側のリテラシーの向上にも有効と考えます。災害時の対応想定内容も同様に具体的なイメージ(避難所としてのキャパシティ、援助物資の備蓄や配布想定量、電源容量、通信の確保見込など)が提示されると良いと思います。また、今後さまざまな設備、機能、サービスの追加時に今回の事業計画によりゼロベースからの対応にならずに済む要素(電源設備、ネットワーク対応、9mグリッド、ユニバーサルレイアウト)のイメージも展開されると良いのではないのでしょうか。	最終的な設計案としてまとめ次第、引き続き新庁舎に関連する効果等について町民のみな様に周知いたします。また、埋蔵文化財発掘調査や建設工事についても、町民の方々の学びの機会として提供したいと考えています。
132	新庁舎及び福祉会館(仮称)の新築については、現在の庁舎及び社会福祉会館の経年変化と安全性、町民の利便性において、また現行の建築基準法に照らしても止むを得ないと思います。実施について、今回広く町民の意見を聞く機会を与えていただいたことに感謝申し上げます。 1 二宮町新庁舎及び福祉会館(仮称)の土地について (1)庁舎建設の土地について。計画の土地は明治四十年に神奈川県農事試験場園芸部(後に園芸試験場)の跡地で現在は梨、葡萄、柿があり果樹公園として町民の憩いの場所となって定着し、緑地となっています。地質地層については確認済みと思いますが、立地条件としては平坦ですが右に峯岸山から富士見が丘一丁目の丘陵そして花の丘公園の丘陵に囲まれた谷戸の出口であり、現在も地下水がにじみ出る場所で樹木にとっては最適ですが、大きな建物の土地としては液状化の心配があります。近隣で代替の土地としては現在の第一駐車場はいかがでしょうか。法務局の隣に侵入道路に面して後ろの丘陵から離して建て、空地は駐車場とします。地質は乾燥していて、ラデアンとも駐車場を挟んでいて町民の利便性からも最適と思います。福祉会館(仮称)の建築場所なら谷戸から離れているので問題はないと思います。	建設用地については、【項番61】のとおりです。果樹公園については、地盤調査の結果、表層から3mの細砂層に自然水位がありますが、N値20以上の比較的硬質な地盤が連続するため地震時の液状化の可能性は低いと考えています。また、「e-かなマップ」においても、「液状化対象外」とされています。
133	新庁舎建設反対。困っている人が沢山いるのにこんな町にガラス張のらせん階段の庁舎なんか作るのは反対。こんなに物価があがっているのに今すぐつくることはない。住民の声をもっと聞いてもらいたい。	新庁舎に螺旋階段はございません。また、ガラス張りというのはローコストを追求した結果のアウトフレームに合わせたものです。
134	新庁舎建設計画について削減計画をして欲しい。年金生活している人が大変なことを考えてほしい	ご意見として賜りました。
135	町の新庁舎反対。二宮町の庁舎を建てるなら学校のトイレをなおしてほしい。	ご意見として賜りました。
136	新庁舎建設反対。年金生活していて物価が上昇しているのに今すぐ新庁舎を建てるのは反対。住民にきちんと話をきいてくれ。建てることばかりで議員、公務員、町長が寄付して作ればよいでしょ	ご意見として賜りました。
137	新庁舎は行政サービスの根幹だと思う。行政課題を一つ一つ解決していくうえでも、新庁舎の話を進めずに、その他の課題に集中することは難しいのではないかと。近隣の市町に置いていかれるのではないかと不安を感じる。新庁舎に反対する人は、いざ災害が起きたときをどう想定しているのか？持続可能なまちづくりを行い、子や孫に安心できる二宮町を繋いでいく上でも、新庁舎建設を現世代が責任を持って進めるべきだと思う。	町民みな様の安全安心のため、計画に沿って進めてまいります。
138	大規模災害発生時に町民の防災拠点となる新庁舎を整備することは自治体として当たり前のことだと思います。是非進めていってください。また、様々な意見が寄せられると思いますが、新庁舎整備を争点とした直近の町長選挙で当選されているため、多くの民意は得られていると思います。後ろ向きな意見に負けず、頑張ってください。	町民みな様の安全安心のため、計画に沿って進めてまいります。
139	園試跡地、打合せ、交渉(H6.5.17)宮森副知事他4、西山町長他4及び同覚書(H6.12.22)岡崎知事、西山町長の2件。何故破棄したのか県民、町民への裏切り、すぐ再確認、実行すべきだ。交渉の約束、覚書きの確認してから20年経過したが基本的精神論は微動だにしないと町民は確信している。法ム局そば(H30.4月広報)からよりハザード大きい果樹公園(令5.5月)へ、その間秘密主義は何故か。私は図書館駐車場西側半分に市町合併を考えた防災機能万全、の複合施設として、早期着工をめざすべきと思う。	【項番20、61】のとおりです。
140	代替案の提案。現庁舎の老朽化と耐震性の低さを解消するための代案として、以下の提案をいたします。- *現庁舎の改修・補強*：現在の庁舎を改修し、耐震補強を行うことで、費用を抑えつつ安全性を確保することが可能です。 - *空き家の活用*：二宮町内に存在する空き家を庁舎の代替として活用することを提案します。空き家のリノベーションや改修を行うことで、費用を抑えつつ庁舎機能を維持できます。また、空き家の活用は地域資源の有効活用にもつながり、町の景観やコミュニティの活性化にも寄与する可能性があります。 - *トレーラーハウスの活用*：災害時の庁舎代替案として、小さなトレーラーハウスを町の複数の拠点に配置することも考えられます。これにより、柔軟な災害対応が可能となり、コストも抑えられます。平時には町内のさまざまな場所で利用でき、行政サービスの分散と住民へのアクセス向上が期待されます。	【項番37、49】のとおりです。
141	住民の意見収集と説明責任の重要性。新庁舎建設に関する計画の決定にあたっては、住民の意見を最大限に尊重し、説明責任を果たすことが必要です。以下の点について、真摯に取り組んでいただきたいと考えます。 - *住民投票の実施*：重要な公共事業に関する意思決定においては、住民投票を実施し、町民全体の意見を反映させることが望ましいです。これにより、町民が計画に対する賛否を直接示す機会を持ち、民主的なプロセスを確保できます。 - *情報公開と説明会の開催*：計画の進捗や詳細について、定期的に情報を公開し、住民向けの説明会を開催することで、透明性を持たせるべきです。住民が計画に対する理解を深め、意見を表明する機会を提供することが重要です。	ご意見として賜りました。

No	意見の概要	町の考え方
142	新庁舎建設には多くの問題があり、財政負担や災害リスク、デジタル行政の推進などを考慮すると、見直しが必要です。現庁舎の改修・補強や、空き家の活用、トレーラーハウスの利用などの代替案を提案いたします。また、住民の意見を反映し、説明責任を果たすために、住民投票や説明会の実施を強く推奨いたします。子育て支援や教育環境の向上など、優先すべき課題に取り組むことで、二宮町の将来をより良いものにすることができると確信しております。どうか、町民の声を反映し、新庁舎建設計画の再考をお願い申し上げます。	【項番2、37、49、57、72、98】のとおりです。
143	今回のパブリックコメント募集に関しては、その資料としてリスク分析表を添付あるいは閲覧に供していただくことが必要と思いました。町役場の分析を経たうえで町民の意見を問うことがよりよいものを作る手順と考えます。リスク分析とは実行前後の変化から起こりうるリスクを見つけ出し、その可能性や対処方法を検討するものです。例えば庁舎の所在地の変更については、関連要素として「町民のアクセス」「コミュニティバス」「印刷物変更」「跡地利用」「吾妻山ハイキング駐車スペース」「周辺住宅への影響」「用地の入手」「町民センター」などが考えられ、それらに関するリスクを検討します。新庁舎建物、レイアウト、機能についても多くの要素があり、分析が可能と思われます。当然その資料が作成されていると思いますが、万一分析が適正にされていないとしたら、今回提案の基本設計は事後にさまざまな追加検討が必要になる可能性を持ちます。	【項番37、57、72、98】のとおりです。